

経営比較分析表（令和5年度決算）

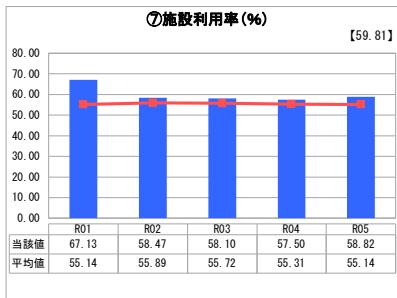
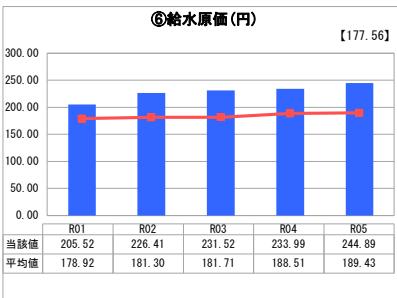
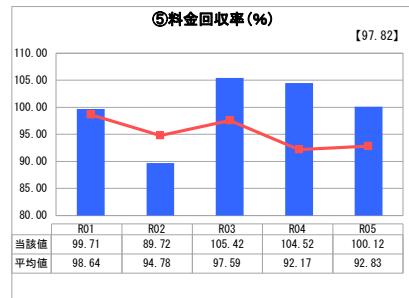
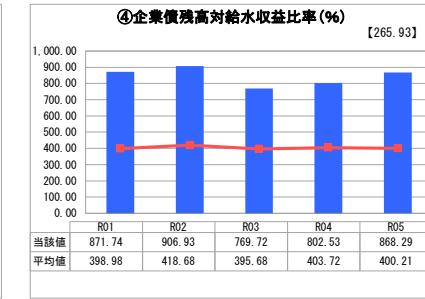
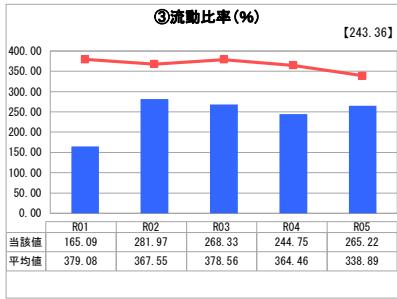
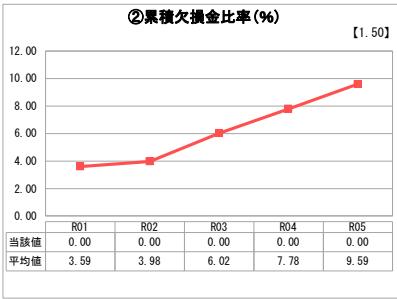
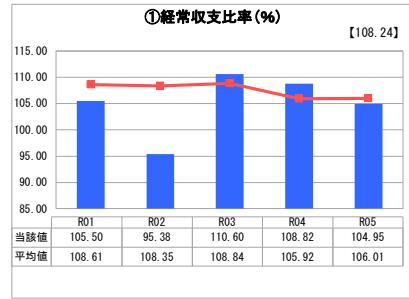
岩手県 大船渡市

業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	52.29	81.61	4,180	

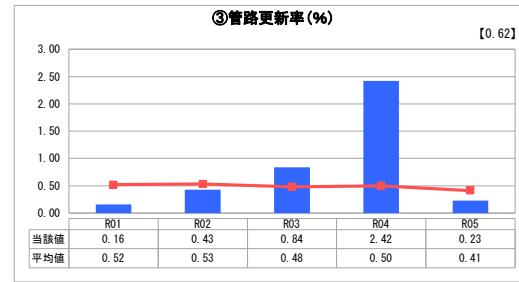
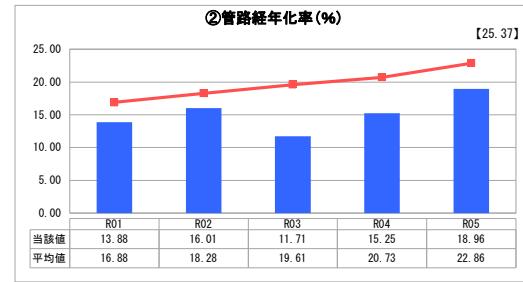
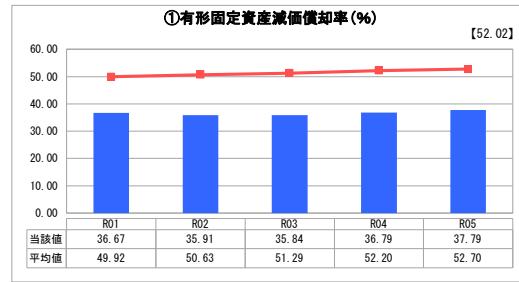
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,845	322.51	101.84
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
26,503	20.50	1,292.83

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
類似団体よりも低い水準にある。

②管路経年化率
未給水区域解消のための施設整備事業及び復興事業の実施等に伴い老朽管の更新が進んだことから、類似団体よりも低い水準となっているが、今後もアセットマネジメントに基づく計画的な更新が必要となる。

③管路更新率
類似団体と比較して低い水準である。今後、更新時期を迎える老朽管が多数あることから、アセットマネジメントに基づく計画的な更新が必要となる。

全体総括

給水人口の減少、経常費用の増加及び簡易水道事業との統合等により、今後、経営状況の厳しさが増すことが見込まれる。

こうした状況に対応するため、統合にあわせて新たに策定した経営戦略に基づき、経営改善の取り組みを推進するとともに、重要度に応じた施設設備の更新を実施し、持続的な事業運営と経営基盤の強化に努める。